



## 畑屋地区防災計画

### 【畑屋地区】

畑屋地区は町の南部に位置し、114世帯257名（令和3年2月1日現在）が暮らす集落で、地区内に洪水浸水想定区域、土砂災害警戒区域、防災重点ため池が3箇所あり、浸水等の危険がある。また、高齢化、一人暮らしの世帯が増えてきており、高齢者世帯の見守りなど、防災、防犯面での不安も生じてきている。

### 【事業応募経緯】

近年、気象災害、土砂災害が多発する中、自助・共助の役割の重要性が高まってきており、令和元年11月に実施しました町総合防災訓練を契機に地区防災計画の作成に前向きな考えを持たれ、地区内に防災士が2名おり、以前から防災活動に熱心に取り組まれていた経緯から事業要望を行い、モデル事業に採択していただきました。

### 【準備部会】

R2. 5. 26に第1回部会開催に向け地元区長、副区長、佐々木さん（アドバイザー）、県、町の担当者で地区の情報共有、今後の進め方について協議を行いました。

## 畑屋地区防災計画

### 【第1回勝央町畑屋地区部会】

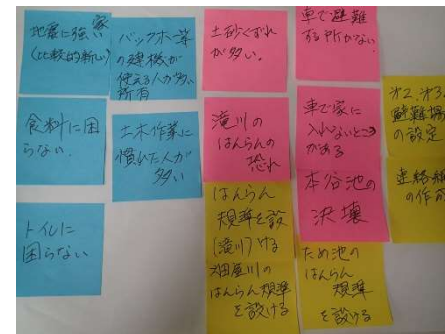
令和2年7月28日（火）19：00～畑屋地区多目的研修集会所において地元住民19名が参加し、第1回部会を開催しました。講師に香川大学 四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構 地域強靱化研究センター特命准教授 磯打千雅子先生をお招きし、地区防災計画についての講義をしていただき、その後、3班に分かれて畑屋地区の「弱み」「強み」を出し合うワークショップを行い、各班とも活発な意見が出て、計画作成の重要な基礎となるものでした。



磯打先生による講義



ワークショップ



畑屋地区「弱み」「強み」

- 第2回部会に向け準備を進めておりましたが新型コロナウイルス新規感染者が拡大する中、地元区長とも協議を重ねてまいりましたが部会を開催することは厳しいのではという結論に至り、地元区長、副区長、町を中心に協議を重ね、第1回部会での意見をもとに、計画を作成しました。